

認知症疾患医療連携研修会 開催報告

日時：令和7年1月17日（金）17:30～19:00

会場：北見赤十字病院 北館3階 大会議室

『認知症地域支援推進員はどんなことをしている?』

～地域で安心して暮らし続けるために共にできること～

ハイブリット形式の研修会を開催いたしました。オホーツク管内の医療・介護・福祉に従事する関係者49名（会場：25名、zoom：24名）に参加していただきました。

高齢者相談支援センター北部の佐藤氏より認知症地域支援推進員についての概要説明があり、その後、それぞれの高齢者相談支援センターでの活動を講話していただきました。高齢者相談支援センター南部の和泉氏からは、オレンジカフェと地域サロン、認知症キッズサポーター養成講座、まんまる農園等について。高齢者相談支援センター留辺蘂の増川氏からは、オレンジガーデニングプロジェクト、教育機関との連携、留辺蘂で活躍する当事者等について。高齢者相談支援センター北部の佐藤氏からは、小学校でのオレンジカフェ、園児と高齢者との多世代交流、オレンジガーデニングプロジェクト等について。写真や動画を交えながらわかりやすく認知症地域支援推進員の方々の活動を教えていただきました。

講師

南部 和泉佳奈氏（左）
北部 佐藤清果氏（中央）
留辺蘂 増川李奈氏（右）



終了後のアンケートでは、「推進員がいるのはわかっていましたが、地域の様々な年代の方に対して認知症についての知識や交流の機会を提供しているということがわかった」「認知症の方が地域で安心して暮らし続けていけるために、周囲の理解と協力は非常に重要だと思います、そのために様々な取り組みの実際を知ることができました」等の感想をいただきました。認知症地域支援推進員の方々の日々の活動について理解を深めることができる貴重な機会となりました。

今年度の認知症疾患医療連携研修会は終了となります。ご協力をいただきまして、ありがとうございました。来年度も開催いたしますので、多くの関係者の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

（認知症疾患医療センター事務局 垂石記）